

◎山田憲昭市長

松任総合運動公園再生総合事業につきましてお答えをいたします。

松任総合運動公園の各施設につきましては、これまで利用者の安全・安心に努めるとともに、長寿命化や機能向上を図り、市民の方が利用しやすい環境づくりに努めてまいりました。

最近では、トイレの洋式化、柔・剣道場の空調設備の設置、体育館メインアリーナの床の全面改修などを行っております。

こうした取組を行っておりますが、議員御指摘のとおり、建設から30年余が経過し、施設全体の老朽化をはじめスポーツを取り巻く環境自体も変化してまいりました。

白山市では、平成31年3月に「健康都市白山」を宣言し、市民はもとより白山市全体が生涯にわたって健康であることを願い、まちづくりを進めております。

スポーツの推進は、その中でも大切な施策であり、そうした意味におきましても、松任総合運動公園の役割は重要であるというふうに考えております。加えまして、トップスポーツチームの試合観戦と観光とを結びつけたスポーツツーリズムの視点も大切です。

こうしたことから、今後は一流スポーツに対応した施設の整備も課題であるというふうに認識をいたしております。

一方、石川県では、西部緑地公園における施設の再整備や大規模改修に向けた検討が始まるというふうに聞いております。施設整備につきましては、施設の規模による役割分担、地域性なども考慮しなければならないというふうに考えているところであります。

御質問の松任総合運動公園全体の再整備につきましては、今すぐではなく、県の動向、広域圏での整備を踏まえ、費用の平準化を図りながら広く意見をお聞きした上で、計画策定を行い、進めてまいりたいと考えております。

なお、今年度は陸上競技場の2種公認を継続するためのトラックの全面改修を発注したところであり、また、多目的人工芝グラウンドにつきましても、今年度全面張替えの設計を行い、来年度施工したいというふうに考えております。

以上であります。